

段 階 確 認 一 覧

共通仕様書における段階確認の記述			監督強化における確認項目・頻度の目安	
種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 頻 度
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	1回／1工事
河川土工 (掘削工) 海岸土工 (掘削工) 砂防土工 (掘削工) 道路土工 (掘削工)		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回／土(岩)質の変化毎
道路土工 (路床盛土工) 舗装工 (下層路盤)		ブルーローリング実施時	ブルーローリング実施状況	1回／1工事
表層安定処理工	表層混合処理 路床安定処理	処理完了時	使用材料、基準高、幅、延長、施工厚さ	1回／100m
	置換	掘削完了時	使用材料、幅、延長、置換厚さ	1回／100m
	サンドマット	処理完了時	使用材料、幅、延長、施工厚さ	1回／100m
パーカールドレーン工	サンドドレーン 袋詰式サンドドレーン ペーパードレーン	施工時	使用材料、打込長さ	1回／100本
		施工完了時	施工位置、杭径	1回／100本
締固め改良工	サンドコンパクションバイブル	施工時	使用材料、打込長さ	1回／100本
		施工完了時	基準高、施工位置、杭径	1回／100本
固結工	粉体噴射攪拌 高圧噴射攪拌 セメントミルク攪拌 生石灰バイブル	施工時	使用材料、深度	1回／100本
		施工完了時	基準高、位置・間隔、杭径	1回／100本
	薬液注入	施工時	使用材料、深度、注入量	1回／10本
矢板工 (仮設を除く)	鋼矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋ 1回／100枚
		打込完了時	基準高、変位	
	鋼管矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋ 1回／50本
		打込完了時	基準高、変位	
既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、杭の支持力	試験杭＋ 1回／5本

共通仕様書における段階確認の記述			監督強化における確認項目・頻度の目安	
種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度
既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込完了時（打込杭）	基準高、偏心量	試験杭＋ 1回／5本
		掘削完了時（中掘杭）	掘削長さ、杭の先端土質	
		施工完了時（中掘杭）	基準高、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	1回／5本
場所打杭工	リバス杭 ホールケーシング杭 アースドリル杭 大口径杭	掘削完了時	掘削長さ、支持地盤	試験杭＋ 1回／5本
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	60％程度/1構造物
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	試験杭＋ 1回／5本
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	1回／5本
深礎工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回／土(岩)質の変化毎
		掘削完了時	長さ、支持地盤	全数
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	1回／1本
		施工完了時	基準高、偏心量、径	全数
		グラウト注入時	使用材料、使用量	全数
オープンケーソン基礎工 ニューマチックケーソン 基礎工		鉄沓据え付け完了時	使用材料、施工位置	1回／1構造物
		本体設置前(オープンケーソン)	支持層	
		掘削完了時(ニューマチックケーソン)		
		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回／土(岩)質の変化毎
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	1回／1ロット
鋼管井筒基礎工		打込時	使用材料、長さ、 溶接部の適否、支持力	試験杭＋ 1回／5本
		打込完了時	基準高、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	1回／5本
置換工 (重要構造物)		掘削完了時	使用材料、幅、延長、 置換厚さ、支持地盤	1回／1構造物
築堤・護岸工		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1法線
砂防ダム		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1法線

共通仕様書における段階確認の記述			監督強化における確認項目・頻度の目安	
種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度
護岸工	法覆工（覆土施工がある場合）	覆土前	設計図書との対比 （不可視部分の出来形）	1回／1工事
	基礎工、根固工	設置完了時	設計図書との対比 （不可視部分の出来形）	1回／1工事
重要構造物 函渠工 （樋門・樋管を含む） 躯体工 （橋台） RC躯体工 （橋脚） 橋脚フーチング工 RC擁壁 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回／土(岩)質の変化毎
		床掘掘削完了時	支持地盤（直接基礎）	1回／1構造物
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	60％程度/1構造物
		埋戻し前	設計図書との対比 （不可視部分の出来形）	1回／1構造物
躯体工 RC躯体工		沓座の位置決定時	沓座の位置	1回／1構造物
床版工		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	60％程度/1構造物
鋼 橋		仮組立て完了時（仮組立てが省略となる場合を除く）	キャンバー、寸法等	1回／1構造物
ポストテンションT(I)桁 製作工 プレキャストブロック桁 組立工 プレーム 桁製作工 PCホースラグ製作工 PC版桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁 製作工 PC押し出し箱桁 製作工 床版・横組工		プレストレス導入完了時 横締め作業完了時	設計図書との対比	10％程度/総ケーブル数
		プレストレス導入完了時 縦締め作業導入完了時	設計図書との対比	20％程度/総ケーブル数
		P C鋼線・鉄筋組立て完了時（工場製作を除く）	使用材料、 設計図書との対比	60％程度/1構造物
トンネル掘削工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回／土(岩)質の変化毎
トンネル支保工		支保工完了時 （支保工変更毎）	吹き付けコンクリート厚、 ロックボルト打ち込み本数及び長さ	1回／支保工変更毎
トンネル覆工		コンクリート打設前	巻立空間	3打設毎又は1回／構造の変化毎、の頻度の多い方
		コンクリート打設後	出来形寸法	1回／200m以上臨場により確認
トンネルインパート工		鉄筋組立て完了時	設計図書との対比	1回／構造の変化毎
ダム工	各工事ごと別途定める。		各工事ごと別途定める。	

共通仕様書における段階確認の記述			監督強化における確認項目・頻度の目安	
種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度
床掘工（漁港）	床掘	掘削完了時	基準高	1回／1ロット
基礎工（漁港）	捨石	均し完了時	基準高	1回／1ロット
本体工（漁港）	ケーソン	鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	60％程度/1構造物
	L型ブロック	鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	20％程度/総製作個数
	セルラーブロック	製作完了時	設計図書との対比	20％程度/総製作個数
	方塊（直立消波 ・蓋を含む）	製作完了時	設計図書との対比	20％程度/総製作個数
被覆・根固工 （漁港）	根固ブロック	製作完了時	設計図書との対比	10％程度/総製作個数
消波工（漁港）	消波ブロック	製作完了時	設計図書との対比	10％程度/総製作個数
裏込・裏埋工 （漁港）	裏込（埋）材	裏埋土前	設計図書との対比	1回／1ロット

注）表中の「確認の程度」は、確認頻度の目安であり、実施に当たっては工事内容及び施工状況等を勘案の上、設定することとする。

なお、1ロットとは、橋台等の単体構造物はコンクリート打設毎、函渠等の連続構造物は施工単位（目地）毎とする。